

## News Release

報道関係者各位

2022年5月31日

日本CSO協会 会長 木崎 弘

### 「わが国のCSO事業に関する実態調査 -2021年度-」の概要

**2021年10月時点の稼働コントラクトMR<sup>\*1</sup>数は3,424人で、全MRに占める比率(アウトソーシング率)は6.4%と過去最高、また、CSO活用企業数もすそ野の広がりが続き、最多となる138社に**

日本CSO協会では、2011年より国内CSOにおける医薬品のマーケティング・販売に係る事業実態を調査しており、この度、2021年度のCSO市場規模【稼働コントラクトMR数および全MRに占める比率(アウトソーシング率)、CSO活用企業数等】を発表しました。

2021年10月時点の稼働コントラクトMR数は3,424人(前年比+4.0%)で、全MRに占める比率(アウトソーシング率)は6.4%と過去最高となりました。

また、CSO活用企業数も、製薬企業に留まらず、医療機器等の企業や医療機関(病医院・薬局)など、広くヘルスケア関連企業へと市場のすそ野が拡大している状況を受けて、過去最多の138社となりました。

世界的に医療・ヘルスケアを取り巻く環境が大きく様変わりする中、CSO発祥のイギリスをはじめとする欧米諸国では、経営の柔軟性を高め、新たな価値を生み出す活動に集中・強化し生産性を向上するアプローチとして、戦略的なアウトソーシングが進展しており、CSOの活用率は10%超に至っています。

わが国でも、1998年に初めてコントラクトMR事業が始まって以来、顧客ニーズが高度化・多様化し、CSOの活用方法はより戦略的なものへと進展し、MSL<sup>\*2</sup>やエデュケーショナル・ナース<sup>\*3</sup>などの専門職、フィールドマーケター、トレーナー、地域包括ケアシステムの推進を支援する職種など、MR以外の新たな担い手も活躍するようになっていきます。

また、特定の製品や疾患領域、エリア等を包括的に受託するCSOマネジメント型モデルをはじめとして、CSO独自のノウハウを活用し、営業・マーケティングからメディカル領域にわたる幅広いサービスが展開されています。

コロナ禍を契機に、不確実性への対応が重要性を増すとともに、様々な“ニューノーマル”が加速している中、今後、国内市場におきましても、CSOの役割の深化・拡大とともにフレキシブルリソースとしての戦略的活用をより一層推進し、欧米同様のアウトソーシング率(10%超)を目指してまいります。

日本CSO協会は、医療・ヘルスケア産業の“変革実行”をご支援するパートナーとして、CSOとコントラクト人財のさらなる価値向上に努め、患者中心の医療・ヘルスケア実現に貢献していきます。

\*1. MR業務に従事する者のほか、医療機器担当者やMSL(メディカル・サイエンス・リエゾン)、エデュケーショナル・ナース等を含む

\*2. メディカル・サイエンス・リエゾン: 疾患領域やその研究において指導的立場である医科学専門家(KOL: キーオピニオンリーダー等)に対し、医学的・科学的見地から情報活動を推進

\*3. 臨床経験のある看護師が、患者ケアの促進等を通じて医療アウトカム向上を支援

### 「わが国におけるCSO事業に関する実態調査 -2021年度-」の概要

【調査対象】 日本CSO協会に所属するCSO企業5社

【調査事項】 CSO事業の動向、CSO企業およびコントラクトMRの状況

- CSO市場規模の推移(コントラクトMR数、アウトソーシング率、CSO活用企業数)
- 活用目的別、疾患領域別にみたコントラクトMRの活用動向 ほか

【調査時期】 調査時点:2021年10月1日 調査期間:2021年10月~2022年1月

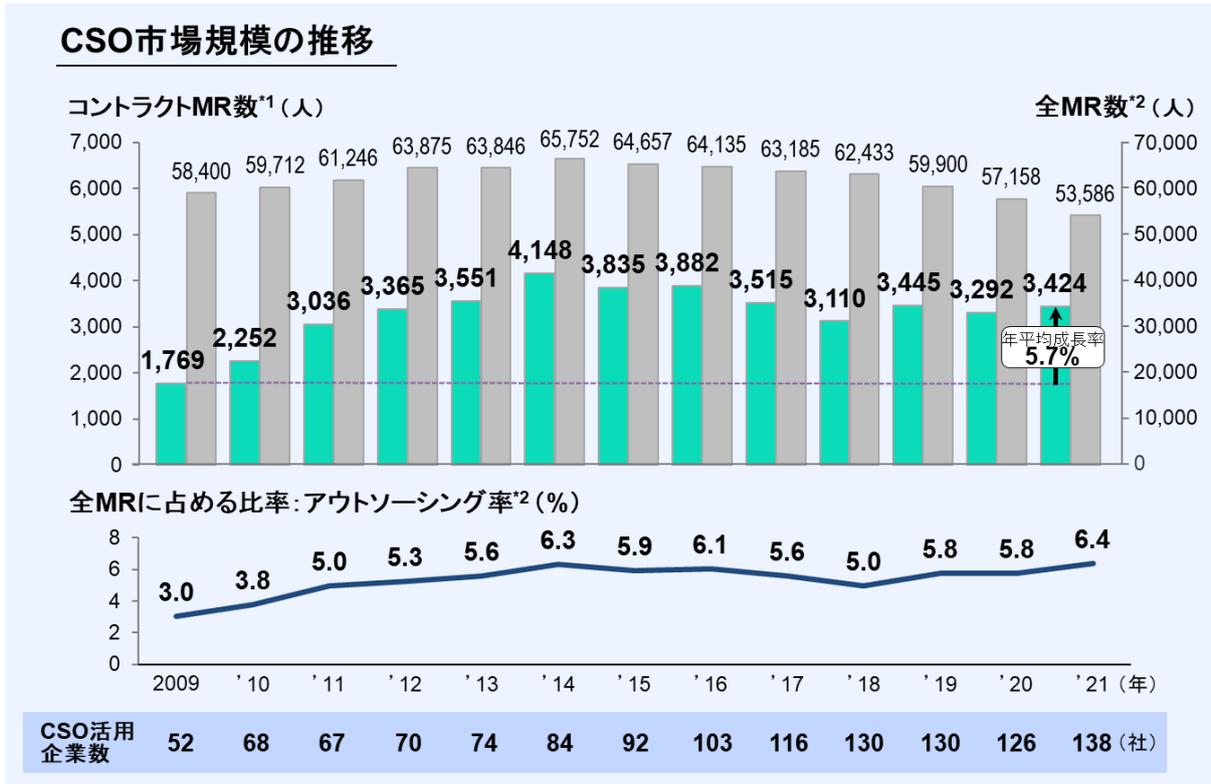
お問い合わせ先 日本CSO協会 広報・マーケティング運営委員会 光山

メール: [info@jcsoa.gr.jp](mailto:info@jcsoa.gr.jp) (ウェブサイト: <https://www.jcsoa.gr.jp/> 内) 電話: 080-4089-5190

添付資料 1/2

■ 国内 CSO 市場規模の推移

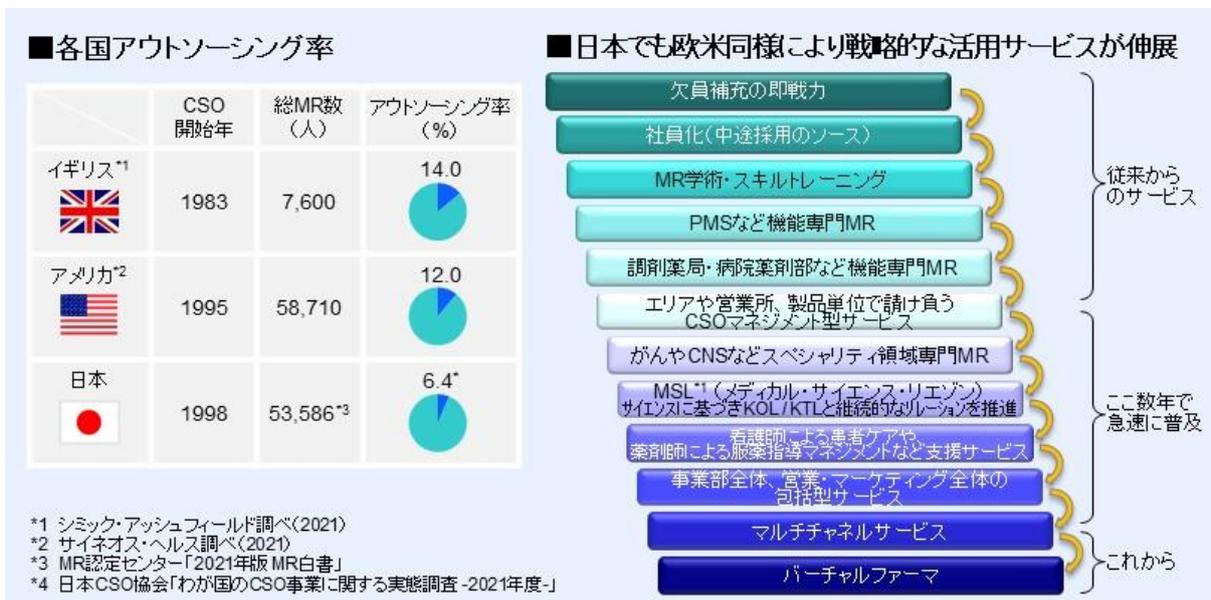
コントラクト MR<sup>\*1</sup> 数、全 MR に占める比率 (アウトソーシング率)、CSO 活用企業数



\*1. MR 業務に従事する者のほか、医療機器担当者や MSL (メディカル・サイエンス・リエゾン)、エデュケーショナル・ナース等を含む。2009~2011 年度のコントラクト MR 数は、受注ベースの人数から実稼働数を算出。以降は実数値

\*2. MR 認定センター「2009 年版 MR 白書」-「2021 年版 MR 白書」の 2008-2020 年度データに基づく(調査時点=翌年 3 月 31 日時点)

■ 各国におけるアウトソーシング率と日本での CSO サービスの深化・拡大の状況



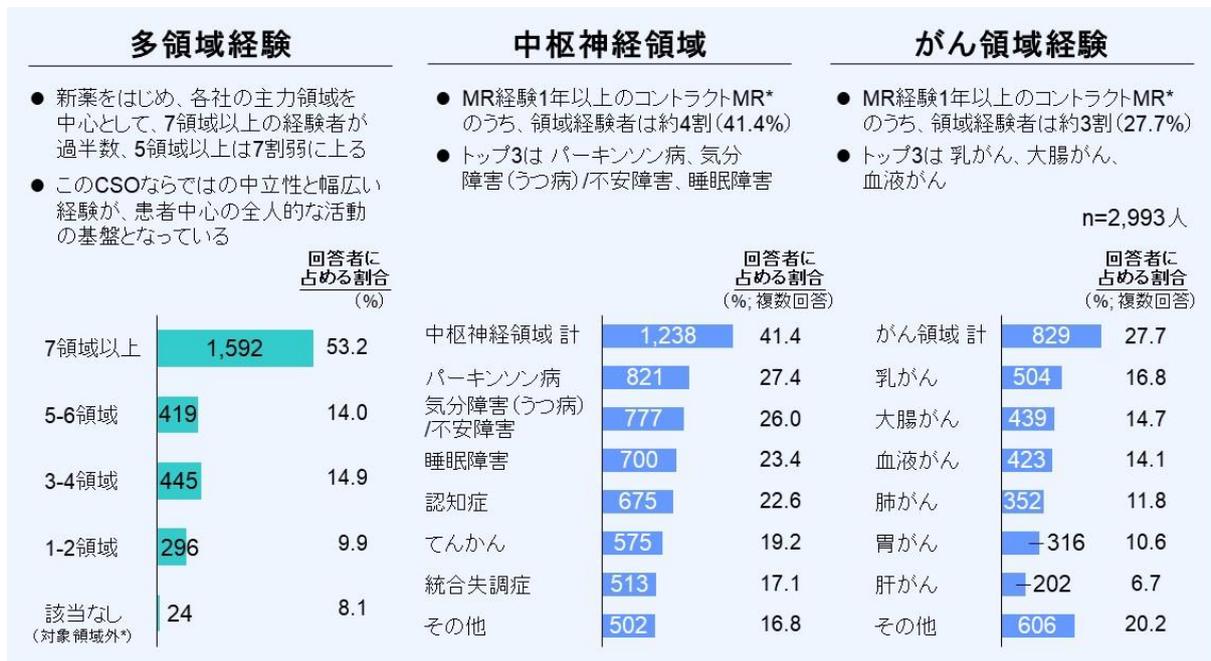
ロゴマークの4つの輪は、医薬品など産業界、医療現場、患者さん、そしてCSOをモチーフにしたもの。その繋がり合いを大切に、さらなる成長・発展を目指していきたいという想いを込めました。

**添付資料 2/2**
**■ コントラクト MR\*1 の領域経験**
**CSO サービスの深化・拡大に伴い、多領域経験者やスペシャリティ領域の担い手が増加**

一定期間毎に様々な疾患領域や製品を担う CSO では、多領域経験者が多いことが大きな特徴であり、新薬をはじめ顧客各社の主力領域を中心に、7 領域以上の経験者が過半数、5 領域以上では 7 割弱となっている。

こうした CSO ならではの幅広いと中立性は、コントラクト MR における患者中心の全人的な情報活動の基盤となっている。

また、新薬パイプラインのスペシャリティシフトを背景に、スペシャリティ領域の担い手も増加しており、中枢神経領域の経験者は 4 割強、がん領域の経験者は 3 割弱にのぼっている。



CSO 協会加盟各社の 2021 年 10 月 1 日時点の在籍 MR\* を対象としたアンケート調査(有効回答数:3,184 人)

\* MR 業務に従事する者のほか、医療機器担当者や MSL(メディカル・サイエンス・リエゾン)、エデュケーショナル・ナース等を含む。このうち 1 年以上の実務経験を有する 2,993 人において、対象 18 領域における 1 年以上の領域経験数、および中枢神経領域・がん領域における 1 年以上の領域経験数を集計(共に前職での経験含む)

\* 対象 18 領域

呼吸器、循環器、消化管、肝・胆・膵、腎、血液、代謝、内分泌、アレルギー、膠原病、神経・筋、精神、整形外科、泌尿器、皮膚、小児、眼、耳鼻